



# 平成27年度 環境活動活動レポート

2015.9.1 ~ 2016.8.31

平成28年11月1日作成

株式会社 コンテク			
EA21 事務局			
承認	担当	作成	
花 崎	今 津	坂 東	前 川

## 目 次

1. 事業概要及び認証範囲
2. 環境方針
3. 環境目標及び実績
4. 環境活動計画チェックシート
  - a.平成27年度 実績
  - b.平成28年度 活動予定
5. 環境関連法規等遵守状況
6. 代表者による全体評価

## 事業概要及び認証範囲

### 組織概要

#### 1) 商号及び代表者名

株式会社 コンテク  
代表取締役社長 花崎 幸裕

#### 2) 所在地

本 社 徳島県徳島市かちどき橋三丁目14-3

#### 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 今津 光章 TEL:088-626-8232  
EMS事務局担当者 坂東 聡美 TEL:088-626-8232

#### 4) 事業内容

環境衛生処理施設及び産業用発電設備の試運転・維持管理事業

#### 5) 事業の規模

事業規模	単 位	平成19年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
売上高	千円	154,998	132,760	146,506	131,346	153,594	145,161	169,049
従業員	人	30	25	25	28	30	28	25
床面積	m <sup>2</sup>	121	121	121	121	121	121	121

※ 従業員数：決算日の在籍数

#### 6) 事業年度 平成27年9月1日～平成28年8月31日

### 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 コンテク  
登録事業部： 本社/総務管理統括部・事業推進室  
OM事業統括 プラント管理技術部  
PJ事業統括 プロジェクト部  
活動： 環境衛生処理施設及び産業用発電設備の試運転・維持管理事業

## 株式会社 コンテク 環境方針

### ◆ 環境理念

株式会社コンテクは地球環境の保全が企業活動においても重要な課題であることを認識し、当社の各事業分野の活動において環境負荷の継続的低減に努め、地域社会と地球環境に優しい循環型社会の形成と環境保全に貢献します。

### ◆ 環境基本方針

株式会社コンテクは環境衛生処理施設・産業用発電設備の試運転・維持管理事業を通じ環境改善に貢献しているが、一方では企業活動に伴うエネルギーの消費、廃棄物の排出によって環境に負荷を与えている。よって企業活動を継続するにあたり次の活動を推進する。

- 1 . 毎年環境計画を立案、実行しその内容を定期的に見直します。
- 2 . 各事業分野に係るすべての環境関連法を遵守します。
- 3 . エネルギー(購入電力・化石燃料・水)消費量の削減に取り組みます。
- 4 . ごみの削減と資源の有効利用、再資源化に取り組みます。
- 5 . 化学物質使用量の管理、削減に取り組みます。
- 6 . 積極的にグリーン調達を行います。
- 7 . 環境関連活動の内容公開と対外アピールに取り組めます。
- 8 . 業務の標準化及び社員の習熟度の向上に取り組む事により環境負荷の低減に努めます。

この方針は全従業員に周知する。

制定日：平成17年 9月 1日  
改定日：平成22年 9月 1日

株式会社 コンテク

代表取締役社長 花崎 幸裕

## 平成27年度 環境活動目標 達成状況

### 1. エネルギー消費量及び廃棄物排出量の削減

#### 1-1. 事務所内のエネルギー消費量の削減（省エネルギー法に該当）

平成20年度の中期計画では、以下の様にエネルギー消費を削減させる事を目標としていた。

削減項目	平成19年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
エネルギー投入量：購入電力 (MJ)/売上高 (千円)	0.961	0.875	0.865	0.855	0.846	0.836
エネルギー投入量：化石燃料 (MJ)/売上高 (千円)	0.701	0.638	0.631	0.624	0.617	0.610
総エネルギー投入量 (MJ)/売上高 (千円)	1.662	1.512	1.496	1.479	1.463	1.446
温室効果ガス排出量：二酸化炭素 (kg-CO2)/売上高 (千円)	0.084	0.0764	0.0756	0.0748	0.0739	0.0731
対平成19年比	基準値	9% 削減	10% 削減	11% 削減	12% 削減	13% 削減

平成27年度 年度数値目標： 1. 総エネルギー投入量 1.479 (MJ / 千円)  
2. CO2排出量 0.0748 (kg-CO2 / 千円)

本年度の活動結果を以下に示す

#### 1-1-1. 総エネルギー投入量 総量 (MJ)

年度 / 項目	① 購入電力	② 化石燃料	①+② 総エネルギー投入量
平成27年 年間合計	75307.6	108646.0	183953.6
平成19年 年間合計	148904.8	108653.5	257558.3
対平成19年比	49.4% 削減	-0.007 削減	28.6% 削減

#### 1-1-2. 温室効果ガス排出量 総量 (Kg-CO2)

年度 / 項目	二酸化炭素 総量
平成27年 年間合計	12468.2
平成19年 年間合計	17910.4
対平成19年比	30.4% 削減

※ 購入電力量 CO2排出係数は0.699kg-CO2/kWh

#### 1-1-3. 目標達成率

年度 / 項目	目標値	平成27年 実績値	目標達成率 (%)
総エネルギー投入量	1.479	1.088	28.6% 削減
温室効果ガス排出量	0.0748	0.074	1.1% 削減

売上単位:1,000円

- 実施内容
- ・省電力型事務機器への更新。
  - ・空調機器の温度設定の徹底。
  - ・移動時の公共交通機関及び自転車の積極的利用

総括 対平成19年度比において温室効果ガスの削減目標を達成した。

化石燃料の削減は少ないが、昨年度と比較すれば削減できている。

## 1-2. ごみの排出量の軽減（廃棄物処理法に該当）

平成20年度の中期計画では、以下の様にごみ排出量を減少させる事を目標としていた。

※ごみの排出量＝事務所から排出される一般廃棄物。

削減項目	平成19年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
単純焼却量(Kg)/売上高(千万円)	17.030	15.497	15.327	15.157	14.986	14.816
最終処分量(Kg)/売上高(千万円)	2.470	2.248	2.223	2.198	2.174	2.149
対平成19年度比	基準値	9% 削減	10% 削減	11% 削減	12% 削減	13% 削減

平成27年度 年度数値目標： 1. ごみの単純焼却量 15.157 (Kg / 千万円)  
2. ごみの最終処分量 2.198 (Kg / 千万円)

本年度の活動結果を以下に示す

### 1-2-1. 重量ベース

種類	平成27年 実績重量	平成19年 実績重量	平成19年比
単純重量 再生利用量 (Kg)	93 kg	108 kg	13.9% 削減
単純焼却量 (Kg)	108 kg	264 kg	59.1% 削減
最終処分量 (Kg)	21 kg	38 kg	44.7% 削減
総量 (Kg)	222 kg	410 kg	45.9% 削減

### 1-2-2. 目標達成率

種類	目標値	平成27年 実績	目標達成率 (%)
単純焼却量(Kg)/売上高(千万円)	15.157	6.389	57.8% 削減
最終処分量(Kg)/売上高(千万円)	2.198	1.242	43.5% 削減
(参考値) 再生利用量(Kg)/総量(Kg)	0.263	0.419	59.3% 増加

実施内容

- ・社内文書のペーパーレス化の取組
- ・両面印刷の励行、印刷量の管理
- ・使い捨て製品の使用、購入の抑制
- ・コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収リサイクル

総括 上記の通り廃棄物の排出量削減に関しては目標達成した。

### 1-3. 総合総括

上記の通り対平成19年度比において温室効果ガスの削減目標を達成、

総合的にみて平成27年度の中期計画達成は「良」とする。

小規模の事業所のため受注内容によって数値の変動が大きい活動自体は定着している。

## 2. その他取組項目

### 2-1. 化学物質使用量の管理、削減（PRTR法に該当）

今年度の目標はPRTR制度対象物質の把握及び適正管理であったが対象物質はなかった。  
 その他使用化学物質についても各事業所の運用規定に基づき適正に管理、運用がなされていた。

2-2. グリーン調達（グリーン購入法 第5条に該当）

調達に於ける環境物品の割合	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
グリーン調達率(目標)	50.0%	52.0%	74%(見直し)	76.0%	78.0%	80.0%
グリーン調達率(実績)	52.0%	74.0%	71.8%	82.0%	91.5%	-

※平成25年度より年 2% 増加を目標とする。

平成27年度 年度数値目標: 1. グリーン調達率 78.0%

平成27年度 年度実績: 1. グリーン調達率 91.5%

総括 本年度の調達は消耗品が多く、金額ベースでの目標達成を行えた。

2-3. 業務の標準化

昨年度に引き続き、PJ事業部の拡大。業務の効率化による環境負荷の低減を目標とした。

本年度の目標は以下の通り。

目標項目	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
OM事業部 作業標準書 作成目標	30 %	40 %	50 %	60 %	70 %	80 %
改善提案書 提出目標	15 件	20 件	25 件	30 件	30 件	35 件
PJ事業部 作業標準書 作成目標	10 %	20 %	30 %	40 %	50 %	60 %
改善提案書 提出目標	5 件	10 件	15 件	20 件	25 件	30 件

(標準作業工数:213件)

本年度の活動結果を以下に示す

目標項目	目標値	実績値	目標達成率(%)
OM事業部 作業標準書	60 %	65 %	108.3 %
改善提案	30 件	10 件	33.3 %
PJ事業部 作業標準書	40 %	45 %	112.5 %
改善提案書	20 件	5 件	25.0 %

(標準作業工数:213件)

総括 作業標準の作成に関しては活動は良好。OM事業部に関しては完成が視野に入ってきた。  
 改善提案書に関しては活動停滞。  
 活動事業所の固定化、及び類似設備の現場が増え提案事項自体も減っている事も考えられる。  
 来期に向けての検討課題。

2-4. 地域貢献及び事務所以外での活動

地域貢献活動として、営業日毎朝の会社周辺の道路・空地の清掃を本年度も実施した。

各現場事業所に置いて、清掃工場における住民見学会や現場周辺の清掃活動等の地域交流活動に参加。

#### 2-5. 活動内容の公開と対外アピール

本社事業所に置いては「環境活動レポート」を事務所玄関に備え付け、来客者が閲覧できるようにしており、当社の環境活動への取組みをアピール。また取引先にレポートを配布し顧客に対しても活動結果を説明。その他本年度もHP更新に伴い当社の環境活動・環境レポートを掲載した。

#### 2-6. 社内教育の実施

社員教育の一環として業務に付随する環境問題に関連する資料等による環境教育を実施。当社業務に係るバイオマス発電関連設備を中心に実施。

#### 2-7. 法令等の遵守状況

環境関連法規への違反、訴訟はありません。過去3年間に関係当局からの違反等の指摘もありません。

#### 2-8. 総排水量の削減

当社事業所が入居しているビルの都合により排水量を測ることはできないが節水キットを取り付ける等、削減対策を本年度も継続実施した。



# 平成27年度環境活動工程表

SCHEDULE CHART & EVALUATION

プロジェクト名	平成27年度 環境活動計画	最終作成日	平成28年9月30日	用途	達成状況の確認	REV. No. 001		
作成部署	EA21事務局							
文書番号	CEA 010-1-160930	達成状況	CHECK	11月	<input checked="" type="checkbox"/> / 02月	<input checked="" type="checkbox"/> / 05月	<input checked="" type="checkbox"/> / 08月	<input checked="" type="checkbox"/>

承認 PREP'D BY		作成 APP'D BY	
代表取締役	環境管理責任者	EA21事務局	EA21事務局

◎:非常に良い, ○:良い, △:どちらともいえない, ×:悪い, …:スケジュール範囲外

環境目標	具体的項目	担当者	SCHEDULE												達成状況/是正策				代表者による評価 / 指示		
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	1Q	2Q	3Q	4Q			
計画立案	・年初に環境目標/環境活動計画を立案する。	今津 光章	→														◎	-	-	-	1Q 目標、計画の立案、及びチェックは遅滞なく実施できた。
	・計画の達成状況を四半期ごとに確認する。				→			→				→					◎	◎	◎	◎	2Q 評価及び関連法規の見直しの実施。
環境関連法規	・法規制等の最新の情報を入手する	今津 光章	→			→			→				→				○	○	○	○	3Q 評価及び関連法規の見直しの実施。
	・法規制等の遵守状況を四半期ごとに確認する。				→			→					→				◎	◎	◎	◎	4Q 評価及び関連法規の見直しの実施。
ごみの排出量削減	・会議用資料や事務手続き書類の簡略化の取り組み。	花崎 幸裕															◎	◎	◎	◎	1Q 廃棄物の削減目標を達成。活動事態は良好である。
	・両面コピー、両面印刷の励行。	坂東 聡美															◎	◎	◎	◎	2Q 廃棄物の削減目標を達成。活動事態は良好である。
	・電子メディアによるペーパーレス化の取り組み。																◎	◎	◎	◎	3Q 廃棄物の削減目標を達成。活動事態は良好である。
	・使用済みコピー用紙の裏紙の使用。																◎	◎	◎	◎	4Q 廃棄物の削減目標を達成。 総排出総量は削減。
	・使用済み封筒の再利用。																◎	◎	◎	◎	
	・コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収・リサイクル。																◎	◎	◎	◎	
	・割り箸再資源化活動の参加。	前川 省吾															○	○	○	○	
	・使い捨て製品(紙コップ等)の使用・購入の抑制。	坂東 聡美															◎	◎	◎	◎	
	・詰替え可能な製品の利用、修理等による備品の長期使用。																○	○	○	○	
	・包装・梱包の削減、再利用に取り組む																○	○	○	○	
・発行書類の点数見直し。		→			→				→							○	○	○	○		
エネルギー消費量削減	・事務機器更新時にエネルギー効率の高い機器を積極的に導入する。	高木 聖子															○	-	○	-	1Q 事務所内エネルギー総消費量、H.19年度比より61.6%削減。 継続的に活動できている。
	・公共交通機関及び自転車の積極的使用の励行。																○	○	○	○	2Q 事務所内エネルギー総消費量、H.19年度比より24.6%削減。 継続的に活動できている。
	・昼休み時間及び使用していないスペースの消灯。																◎	◎	◎	◎	
	・事務機器の待機電力の削減。																◎	◎	◎	◎	3Q 事務所内エネルギー総消費量、H.19年度比より14.9%削減。 継続的に活動できている。
	・スイッチ近くに節電啓発の張り紙をする。																◎	◎	◎	◎	

# 平成27年度環境活動工程表

SCHEDULE CHART & EVALUATION

プロジェクト名	平成27年度 環境活動計画	最終作成日	平成28年9月30日	用途	達成状況の確認	REV. No. 001		
作成部署	EA21事務局							
文書番号	CEA 010-1-160930	達成状況	CHECK	11月	☑ / 02月	☑ / 05月	☑ / 08月	☑

承認 PREP'D BY		作成 APP'D BY	
代表取締役	環境管理責任者	EA21事務局	EA21事務局

◎:非常に良い, ○:良い, △:どちらともいえない, ×:悪い, …:スケジュール範囲外

環境目標	具体的項目	担当者	SCHEDULE												達成状況/是正策				代表者による評価 / 指示		
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	1Q	2Q	3Q	4Q			
エネルギー消費量削減	・夏場の冷房の下限を28℃に設定する。	高木 聖子	→														◎	-	-	◎	4Q 事務所内エネルギー総消費量、H.19年度比より12.7%削減。年間消費量もH.19年度比より28.6%削減。
	・冬場の暖房の上限を20℃に設定する。							→									-	◎	◎	-	
	・自動車購入の際に燃費、リサイクル素材の使用等を考慮する。																○	○	○	○	
	・アイドリングストップ等の運転方法の配慮を行う。																○	○	○	○	
節水及び排水処理	・食器のまとめ洗いに取り組む。	坂東 聡美															◎	◎	◎	◎	1Q 実施は十分にできているので、今後も活動を継続すること。 2Q 実施は十分にできているので、今後も活動を継続すること。 3Q 実施は十分にできているので、今後も活動を継続すること。 4Q 実施は十分にできているので、今後も活動を継続すること。
	・節水啓発の表示、節水器及び排水口にネットを取り付ける。																◎	◎	◎	◎	
化学物質使用量管理削減	・使用化学物質の把握及び活動の評価。	河村 直人															○	○	○	○	1Q PRTR法の指定物質はダイオキシン類のみ。 2Q PRTR法の指定物質はダイオキシン類のみ。 3Q PRTR法の指定物質はダイオキシン類のみ。 4Q PRTR法の指定物質はダイオキシン類のみ。
	・使用化学物質の管理状況、排出状況の確認。	山本 伸行															○	○	○	○	
グリーン調達	・購入品目の把握、品目の見直し及び評価。	坂東 聡美	→														◎	-	◎	-	1Q 本社調達事務用品についてリスト見直し。 2Q 上半期の目標調達率は達成。 3Q 本社調達事務用品についてリスト見直し。 4Q 下半期の目標達成率も達成。 活動良好。
	・グリーン調達の実施。																◎	◎	◎	◎	
	・グリーン調達比率目標を設定、見直し。		→														◎	-	◎	-	
地域貢献/対外アピール 社員教育	・会社周辺の清掃活動及び環境活動イベント等への参加。	前川 省吾															○	○	○	○	1Q 清掃活動は継続的。教育実施。 2Q 清掃活動実施。 3Q 清掃活動実施。 4Q 教育実施。PJ/OM部門共に実施出来た。 例年の事であるが対外的な活動が行えていない。
	・自社HPでの環境活動レポートの公開。																○	○	○	○	
	・従業員への環境関連教育の実施。																○	○	◎	○	
業務標準化及び作業改善	・「作業標準書」の作成。	河村 直人															○	○	○	○	1Q 標準書の作成は良好。 2Q 標準書の作成は良好。業務改善提案書の提出が少ない。 3Q 標準書の作成は良好。業務改善提案書の提出が少ない。 4Q 標準書の作成状況は良好。 通年に於いては業務改善提案書の目標が未達成。業務多忙時は作業が進まなかった。提出件数も大事だが、業務内容を全体的に把握・見直し、各自のスキルアップを必要とする結果となった。
	・「作業標準書」の運用及び内容の見直し。	山本 伸行	→			→											○	○	○	△	
	・「改善提案書」の提出状況の確認。		→			→											○	△	△	△	
	・「改善提案書」のフィードバック及び評価。																○	△	△	△	





## 環境関連法規等遵守状況

上半期の評価日：平成28年2月28日

下半期の評価日：平成28年8月31日

法令名称	対象となる活動	担当部署	上半期	下半期	活動内容と評価
(1) 本社管理業務関連法規					
循環型社会形成促進基本法	再生品の使用の励行	業務部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	コピー用紙/はがき等の再生品の購入。活動内容は良好。
特定家庭用機器再商品化法	特定家庭用機器廃棄の適正な引き渡し、料金の支払い	総務部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	正規産業廃棄物収集運搬業者に廃棄を依頼。活動内容は良好。
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	消費者は容器包装ごみを分別排出する責任を負う。	総務部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	分別廃棄の実施。活動内容は良好。
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律	・環境への負担が少ない物品・サービスの優先的購入 ・グリーン調達	総務部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	適合品の購入。活動内容は良好。
自動車NoxPM法	対策地域での車種規制等の遵守	業務部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	対象地域においてディーゼル車の使用禁止。
特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	特定製品の廃棄に際しフロン類の適正・確実な回収、破壊がなされるよう努め適正な費用負担を行う	総務部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	今期対象廃棄品無。
徳島県環境基本条例	事業活動に伴う廃棄物が適正に処理が図られることとなるように必要な措置を講ずる責務を有する。	EMS	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	活動内容は良好。
廃棄物処理法	廃棄物の排出抑制と適正な処理、生活環境の清潔保持による生活環境の保全と公衆衛生の向上	総務部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	ごみ排出量の低減、正規登録業者への依頼。活動内容は良好。
資源有効利用促進法	使用済みパソコンの回収・再資源化	総務部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	今期対象廃棄品無。
労働安全衛生法	アスベスト(石綿)を含む製品の使用禁止	総務部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	今期対象使用品無。
省エネルギー法	低燃費車両導入・省エネルギー製品の購入	業務部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	低公害車の使用。活動内容は良好。
環境配慮事業活動促進法	事業活動に係る環境配慮等の状況に関する情報の提供及び利用	業務部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	活動内容は良好。
消防法	・共同防火管理義務 ・消火及び非難訓練の実施	防火管理者	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	防火管理責任者の専任、防火訓練の実施。活動内容は良好。
(2) 事業所関連法規					

## 環境関連法規等遵守状況

上半期の評価日：平成28年2月28日

下半期の評価日：平成28年8月31日

法令名称	対象となる活動	担当部署	上半期	下半期	活動内容と評価
環境基本法	・公害を防止し、自然環境を適切に保全するために必要な措置を講ずる責任	EMS	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	環境関連法規の違反及び訴訟等は無し。活動継続。
環境影響評価法 (参考:徳島県環境影響評価条例)	・環境影響評価の実施及び作成 ・環境影響評価書を踏まえた上での事業の実施	EMS	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	環境関連法規の違反及び訴訟等は無し。活動継続。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	・処理基準及び保管基準の設定 ・廃棄物処理施設の設置手続 ・廃棄物処理施設の構造及び維持管理基準の設定 ・定期検査の実施	OM部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	環境関連法規の違反及び訴訟等は無し。活動継続。
		PJ部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	環境関連法規の違反及び訴訟等は無し。活動継続。
大気汚染防止法	・規制の対象/適用地域/規制基準の規定 ・届出基準/測定義務 ・事故時の対応義務	OM部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	環境関連法規の違反及び訴訟等は無し。活動継続。
		PJ部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	環境関連法規の違反及び訴訟等は無し。活動継続。
ダイオキシン類対策特別措置法	・廃棄物焼却炉に係るばいじん等の処理に関する規定 ・大気基準、水質基準適用施設設置者による測定義務 ・ばい煙排出の事故対応及び復旧処置	OM部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	客先による測定の実施を確認/事故及び法令違反は無し。
		PJ部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	客先による測定の実施を確認/事故及び法令違反は無し。
下水道法	・排水の排出先の確認 ・発注仕様書等により自主規制値確認 ・定期的な測定の実施	OM部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	事業活動は無く、活動継続。
		PJ部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	事業活動は無く、活動継続。
水質汚濁防止法	・排水の排出先の確認 ・発注仕様書等により自主規制値確認 ・定期的な測定の実施	OM部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	定期的な測定の実施。事故及び法令違反は無く、継続とする。
		PJ部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	定期的な測定の実施。事故及び法令違反は無く、継続とする。
騒音規制法	・規制地域規制の対象と自主規制基準制基準の遵守義務 ・特定施設の設置の届出等	OM部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	定期的な測定の実施。活動継続とする。
		PJ部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	定期的な測定の実施。活動継続とする。
悪臭防止法	・事故時の措置 ・悪臭が生ずる物の焼却の禁止	OM部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	事故及び法令違反は無く、活動継続。
		PJ部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	事故及び法令違反は無く、活動継続。

## 環境関連法規等遵守状況

上半期の評価日：平成28年2月28日

下半期の評価日：平成28年8月31日

法令名称	対象となる活動	担当部署	上半期	下半期	活動内容と評価
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制地域規制の対象と規制基準制基準の遵守義務</li> <li>特定施設の設置の届出等</li> </ul>	OM部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	機器等の振動値の測定/自主規制値の確認。
		PJ部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	機器等の振動値の測定/自主規制値の確認。
公害防止組織整備法	<ul style="list-style-type: none"> <li>適用事業所かどうか確認</li> </ul>	OM部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	事業活動は無く、活動継続。
		PJ部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	事業活動は無く、活動継続。
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制の対象 (第1種/第2種指定化学物質)の把握</li> <li>排出量等の把握及び届出</li> <li>特定事業所か確認</li> </ul>	OM部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	客先による測定の実施を確認/事故及び法令違反は無し。
		PJ部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	客先による測定の実施を確認/事故及び法令違反は無し。
消防法(危険物)	<ul style="list-style-type: none"> <li>貯蔵/取扱規定の遵守</li> <li>資格保有者の選任</li> </ul>	OM部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	資格保有者の選任/事故及び法令違反は無く、活動継続。
		PJ部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	資格保有者の選任/事故及び法令違反は無く、活動継続。
高圧ガス保安法	<ul style="list-style-type: none"> <li>許可・届出が必要な貯蔵所の確認</li> <li>設置の届出/変更の許可等</li> <li>保安教育</li> <li>貯蔵についての技術上の基準</li> </ul>	OM部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	事業活動は無く、活動継続。
		PJ部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	事業活動は無く、活動継続。
エネルギーの使用の合理化に関する法律 (省エネルギー法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定事業所か確認</li> <li>エネルギー管理者の設置/報告義務</li> </ul>	OM部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	事業活動は無く、活動継続。
		PJ部	☑ 良 / □ 否	☑ 良 / □ 否	事業活動は無く、活動継続。





## 代表者による四半期評価

作成日：平成28年9月30日

評価項目	評価日	平成27年11月30日	平成28年2月27日	平成28年5月30日	平成28年8月31日	平成28年9月30日	評価（結果と今後の目標）
		第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	年度通期	
12 環境目標の変更の必要		変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	活動良好。変更の必要は無し。
13 環境活動計画の変更の必要		変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	活動良好。変更の必要は無し。
14 環境経営システムの変更の必要		変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	変更の必要無 <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 否	活動良好。変更の必要は無し。

## 主要項目についての個別総括

## 1. 事務所内のエネルギー消費量の削減

遠方への現場移動が多く、第二四半期、第三四半期の化石燃料使用量が増加。

年間を通じては使用量を削減できた。

## 2. 廃棄物排出量の削減

分別等を徹底した結果、取組効果が見られた。書類等の廃棄も無く目標を大幅に達成できた。今後も継続しさらに削減に取り組む事とする。

## 3. グリーン調達

本年度の調達は消耗品が多く、金額ベースでの目標達成を行えた。

## 総評

今年度は総じて活動は良好であった。

しかし裏を返せば事業等に新規性がなくなっていることのもあり来年度は事業の拡大と

環境活動の両立を目標としたい。

## 環境関連法規の遵守状況

平成27年度の環境関連法規への違反及び訴訟は無く、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘もありません。

代表取締役社長 花崎 幸裕 印

CONTEK CORPORATION